

単機関研究用

研究課題名：肺癌における樹状細胞が予後に与える影響についての後ろ向き観察研究

1. 研究の対象

2005年4月1日～2023年8月31日に当院で肺癌手術を受けられた18歳以上の方

2. 研究目的・方法・期間

・研究目的、方法

肺癌に対して免疫環境は治療成績(予後)に重要な影響を及ぼします。樹状細胞は、胆嚢癌の切除検体で集簇(しゅうぞく)が強い場合は予後に良好な影響を及ぼすとの報告があります。肺癌においても重要な役割を果たすと考えられますが、十分な研究は実施されていないのが現状です。

今回、肺癌手術検体の腫瘍細胞を免疫染色を行うことで、免疫細胞(樹状細胞)の腫瘍周囲の数や集まり方を確認し、その結果と予後に相関があるかを確認します。

・研究期間 研究実施許可日 ～ 2026年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

通常診療範囲で得られる情報：

術前の評価因子：患者ID(情報管理に使用)、年齢、性別、身長、体重、BMI、基礎疾患(COPD、IP、その他の呼吸器疾患、心疾患、糖尿病、高血圧)、PS(全身状態)、CRP、喫煙歴(never、ex-、current/Brinkman Index)、呼吸機能、腫瘍マーカー(CEA、CYFRA)、c Stage、術前の確定診断の有無とその診断法、腫瘍のCT値、PNI(栄養学的予後指標)

術中、術後の評価因子：手術アプローチ(開胸、胸腔鏡)、肺葉区域の部位、リンパ節郭清の範囲有無、術式、術後CRP、Alb値、再開胸手術の有無、手術時間、合併症(肺合併症、膿胸、肺炎、心臓合併症)、術中出血量、術後24時間の排液量、病理診断、pTNM Stage、pl、ly、v、PD-L1の発現率、EGFR、ALKの発現の有無、術後補助療法の有無、OS(全生存期間)、DFS(無病生存期間)、DSS(疾患特異的生存率)、再発形式。

切除検体から腫瘍の未染色のプレパラートを作成し、病理学的な腫瘍周囲のCD1a、S100、CD8、CD4陽性細胞の数や局在を評価、またHE染色を実施。

試料：切除検体

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

《照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先》

住 所：〒849-8501

佐賀県佐賀市鍋島5丁目1番1号

佐賀大学医学部附属病院 呼吸器外科

担 当 者：呼吸器外科 助教 宮原尚文（研究責任者）

電話番号：0952-34-2345

【この研究の試料・情報の取扱い】

倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした情報等には個人を識別できないよう処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

このお知らせは研究実施許可日より2026年12月31日までの間、研究対象となる患者さんへの公表を目的に、佐賀大学医学部附属病院臨床研究センターホームページで掲載しているものです。

佐賀大学医学部附属病院臨床研究センター <http://chiken.med.saga-u.ac.jp>

なお、この研究内容は佐賀大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会で審査を受け、研究機関の長の許可を受け実施されています。臨床研究センターHPでは、佐賀大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会に関する他の情報等も公表していますのでご覧下さい。